

認証式と交流会を開催しました。

平成
29年度

校庭芝生の親方・匠

校庭芝生の親方・匠とは？

東京都教育委員会は、校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、多大な貢献をされた方で、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。

平成29年度で6回目となる認証式では、各校の教員や維持管理団体のリーダーを中心に、「親方」が6名、「匠」が7名認証されました。維持管理活動に携わる頼もしい先達として、ますますの御活躍を期待しています。

認証式に引き続き、「親方・匠」の方々の交流会を開催しました。冒頭、足立区立中島根小学校と西東京市立田無第二中学校の「親方・匠」の方々から、芝生を活用した取組などについて発表がありました。後半は、歴代の「親方・匠」認証者をお交え、各校で日々工夫していることや課題について意見を交換しました。参加者にとって貴重な情報交換の場となり、今後の維持管理に携わる上でのスキルアップにつながる会となりました。



認証者の皆さん

親方

深川 賢一

板橋区立蓮根第二小学校
「芝生見守り隊」一員

渡辺 好造

町田市立小中一貫ゆくのき学園
(大戸小学校・武蔵岡中学校)
副校長

渡邊 宗晴

昭島市立武蔵野小学校
PTA 会長

山上 真哉

国立市立国立第一中学校
副校長

神田 國男

町田市立藤の台小学校
副校長

藤井 和重

西東京市立田無第二中学校
副校長

匠

高木 哲朗

荒川区立南千住第二幼稚園
技能長

庄司 勝光

荒川区立第四峡田小学校
技能主任

横山 哲嗣

足立区立中島根小学校
「緑を育む会」一員

小川 孝裕

調布市立第二小学校
副校長

伊藤 規義

町田市立藤の台小学校
主幹教諭

尾林 義春

西東京市立谷戸小学校
技能長

原田 初男

瑞穂町立瑞穂第五小学校
学校用務員

※ 所属及び役職は、認証当時のものです。



あっぱれ!

親方・匠



国立市立国立第一中学校
山上 真哉 校長



モットーは「芝生が枯れたら自分も枯れる！」

今回は、平成29年度に親方に認証された、国立市立国立第一中学校の山上真哉校長先生をお訪ねしました。

●芝生とともに成長した7年間

「私が副校長として着任した平成24年の6月に芝生化の工事が始まったんですよ。」とおっしゃる山上先生。当初は何もかも手探り状態だったそうですが、初めて受けた講習で「管理職が興味を持たなかったら芝生はダメになりますよ。」という言葉聞いて、自分がやらないと、という思いを強くされたそうです。

成長の早い冬芝との格闘や日光を遮る銀杏並木の問題などをクリアして、今、緑の芝生が7年目を迎えています。「おかげさまで、休み時間でもほとんど外に出なかった子供たちが、今では外に出て芝生の上で色々な遊びをやっています。」と嬉しそうに話してくださいました。さらに芝生化の効果として、学校全体でスポーツテストの得点が伸びたことに加え、昨年度は生徒の体力向上に向けた取組が認められ、都から表彰を受けました。これは、先生方にとって本当に嬉しい驚きだったそうです。

●授業や保護者会などに大活躍

芝生の活用を促すために、木陰になる芝生の上にウッドデッキ

キが置かれています。国語の授業で詩を読んだり、一面にマットを敷いて体育の授業をやったりと、芝生はこの学校の生活にしっかりと根付いています。保護者の方も教室での保護者会の続きを芝生の上で、ということもあるそうです。

●むやみに規制しないことで豊かな関係を育む

「夢はグラウンド全体を一面の緑の芝生にすることですが、それはなかなか難しいので、とにかく枯らさないで芝生を維持することが自分の使命。」とおっしゃる山上先生。PTAの芝生委員会、地域の育成会、学校の経営支援部という三者が一体となって芝生の緑が続くように頑張りたいとのこと。子供たちには芝生を自由に活用してもらい、親方を中心とした学校・地域全体でそれを見守り支えるという、芝生を中心とした豊かな関係を築いていました。



東京都教育委員会 [緑の学び舎づくり事業]

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 〒163-8001 都庁第一本庁舎北側 40階
東京都教育庁地域教育支援部義務教育課
TEL (03) 5388-3567 FAX (03) 5388-1734
東京都教育委員会印刷物登録 平成30年度 第56号

R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。